

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公開番号】特開 2020-68822 (P2020-68822A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-202537 (P2018-202537)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 17 日 (2021.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を用いた遊技が行われる遊技盤に設けられた始動口への遊技球の入球に基づいて当りか否かの抽選を行い、該抽選の結果が当りである場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態に制御する遊技機であって、

前記抽選の結果に応じて発光可能な複数の発光体と、

前記複数の発光体のうちの第 1 発光体が表実装面に実装される第 1 発光基板と、

前記複数の発光体のうちの第 2 発光体が表実装面に実装される第 2 発光基板と、を備え

、
前記第 1 発光体は、第 1 制御信号を受信して該第 1 制御信号が示す発光態様で発光制御され、前記第 2 発光体は、前記第 1 制御信号とは異なる周期で出力される第 2 制御信号を受信して該第 2 制御信号が示す発光態様で発光制御されて前記抽選の結果を表示するものであり、

さらに、前記第 2 発光基板の表実装面側に設けられるカバー体を具備し、

前記カバー体には、少なくとも一部を破壊しなければ前記第 2 発光基板を離脱できないように不可逆的な固着手段によって前記第 2 発光基板が固着され、

前記第 1 発光体は、所定の操作部の操作に応じて輝度を変更することが可能とされ、

前記第 2 発光体は、所定の操作部が操作された場合であっても輝度を変更することなく

、予め決められている一定の輝度で発光し得る、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を用いた遊技が行われる遊技盤に設けられた始動口への遊技球の入球に基づいて当りか否かの抽選を行い、該抽選の結果が当りである場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態に制御する遊技機であって、

前記抽選の結果に応じて発光可能な複数の発光体と、

前記複数の発光体のうちの第 1 発光体が表実装面に実装される第 1 発光基板と、

前記複数の発光体のうちの第 2 発光体が表実装面に実装される第 2 発光基板と、を備え

、
前記第 1 発光体は、第 1 制御信号を受信して該第 1 制御信号が示す発光態様で発光制御され、前記第 2 発光体は、前記第 1 制御信号とは異なる周期で出力される第 2 制御信号を

受信して該第 2 制御信号が示す発光態様で発光制御されて前記抽選の結果を表示するものであり、

さらに、前記第 2 発光基板を収容する収容部と、を具備し、

前記収容部は、本体とカバー体とで構成され、少なくとも一部を破壊しなければ内部に収容されている前記第 2 発光基板を取り出せないように不可逆的な固着手段によって前記本体および前記カバー体が固着され、

前記第 1 発光体は、所定の操作部の操作に応じて輝度を変更することが可能とされ、

前記第 2 発光体は、所定の操作部が操作された場合であっても輝度を変更することなく、予め決められている一定の輝度で発光し得る、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このような遊技機において、発光手段に不具合が発生した場合に、重要な情報が適切に通知できなくなり、遊技興趣を低下させるおそれがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、本願請求項 1 に係る発明においては、

遊技球を用いた遊技が行われる遊技盤に設けられた始動口への遊技球の入球に基づいて当りが否かの抽選を行い、該抽選の結果が当たりである場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態に制御する遊技機であって、

前記抽選の結果に応じて発光可能な複数の発光体と、

前記複数の発光体のうちの第 1 発光体が表実装面に実装される第 1 発光基板と、

前記複数の発光体のうちの第 2 発光体が表実装面に実装される第 2 発光基板と、を備え

、
前記第 1 発光体は、第 1 制御信号を受信して該第 1 制御信号が示す発光態様で発光制御され、前記第 2 発光体は、前記第 1 制御信号とは異なる周期で出力される第 2 制御信号を受信して該第 2 制御信号が示す発光態様で発光制御されて前記抽選の結果を表示するものであり、

さらに、前記第 2 発光基板の表実装面側に設けられるカバー体を具備し、

前記カバー体には、少なくとも一部を破壊しなければ前記第 2 発光基板を離脱できないように不可逆的な固着手段によって前記第 2 発光基板が固着され、

前記第 1 発光体は、所定の操作部の操作に応じて輝度を変更することが可能とされ、

前記第 2 発光体は、所定の操作部が操作された場合であっても輝度を変更することなく、予め決められている一定の輝度で発光し得る、
ことを特徴とする。

また、上記した目的を達成するために、本願請求項 2 に係る発明においては、

遊技球を用いた遊技が行われる遊技盤に設けられた始動口への遊技球の入球に基づいて当りが否かの抽選を行い、該抽選の結果が当たりである場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態に制御する遊技機であって、

前記抽選の結果に応じて発光可能な複数の発光体と、

前記複数の発光体のうちの第 1 発光体が表実装面に実装される第 1 発光基板と、

前記複数の発光体のうちの第 2 発光体が表実装面に実装される第 2 発光基板と、を備え

、
前記第 1 発光体は、第 1 制御信号を受信して該第 1 制御信号が示す発光態様で発光制御され、前記第 2 発光体は、前記第 1 制御信号とは異なる周期で出力される第 2 制御信号を受信して該第 2 制御信号が示す発光態様で発光制御されて前記抽選の結果を表示するものであり、

さらに、前記第 2 発光基板を収容する収容部と、を具備し、

前記収容部は、本体とカバー体とで構成され、少なくとも一部を破壊しなければ内部に収容されている前記第 2 発光基板を取り出せないように不可逆的な固着手段によって前記本体および前記カバー体が固着され、

前記第 1 発光体は、所定の操作部の操作に応じて輝度を変更することが可能とされ、

前記第 2 発光体は、所定の操作部が操作された場合であっても輝度を変更することなく、予め決められている一定の輝度で発光し得る、
ことを特徴とする。